

平成 24 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス						
教科目名	建築設計製図Ⅲ	担当教員	藤田大輔 鶴田佳子 今田太一郎 清水隆宏			
学年学科	5年 建築学科	前期	選択	3単位(学修)		
学習・教育目標	(B-2) 12% (D-3) 55%・創生 (E) 33%		JABEE 基準 1 (1) (c), (d)			
授業の目標と期待される効果： 建築設計製図の集大成として、教員から示されるテーマを手掛かりに学生自ら具体的に課題を設定し、設計を進める。 ・自ら課題を発見して、建築の企画作成する能力をつける。 ・企画を空間として具体化する能力を磨く。 ・キャド・CG を駆使して、デザインを行う能力を磨く。 ・計画を相手に的確に伝える能力を高める。		成績評価の方法： ・講評会に提出された作品を対象とし、A 科教員全員で評価を行う。 ・スタジオ主催教員計 80 (20 点×4) 点+その他教員 70 点 (10 点×7) に占める得点率で評価する。 ・スタジオ主催教員以外の教員 2 名以上に下の期限以内に 3 回以上エスキースチェックを受けることを評価の条件とする。 期限 1 回目；コンセプト 5 月中旬予定 2 回目；ブロックプラン 6 月中旬予定 3 回目；平面図 7 月中旬予定 達成度評価の基準： 成績評価は、下記項目を鑑み、教員毎に行う。 ・説得力のある設計テーマが設定されているか。 ・企画が十分練られているか。 ・企画を具体化する魅力的な建築等がデザインされているか。 ・計画内容に即した適切な表現方法が用いられているか。				
授業の進め方とアドバイス： 設計製図の集大成として自ら計画を立て、主体的に進めていくこと。 設計のために必要な最大限の資料や情報を自ら検索し、整理することを勧める。 計画を考える際には、手を動かし文字や形にしながら考えを進めることが重要である。						
教科書および参考書： 日本建築学会編 コンパクト資料集成 (丸善)、その他必要な情報は各自収集すること。						
授業の概要と予定：			教室外学修			
4人の教員によるスタジオ形式で進める。 学生は4人いずれかの教員のスタジオに所属(1スタジオ5～8人程度)し、議論を重ねながら以下のスケジュールを目安に計画を進める。スタジオ主催教員以外の全ての教員は、必要に応じて学生にアドバイスをを行う。 第 1 回：所属スタジオの決定。スケジュールの確認 第 2 回：エスキース 1 (企画・コンセプトの検討 1) 第 3 回：エスキース 2 (企画・コンセプトの検討 2) 第 4 回：エスキース 3 (ダイアグラム・基本プラン作成) 第 5 回：エスキース 4 (平面図 1) 第 6 回：エスキース 5 (平面図 2) 第 7 回：エスキース 6 (立断面図 1) 第 8 回：中間発表 (ポスターセッション形式、建築学科全教員) 第 9 回：エスキース 7 (平面図 3) 第 10 回：エスキース 8 (立断面図 2) 第 11 回：エスキース 9 (全体計画見直し) 第 12 回：エスキース 10 (プレゼンテーション 1) 第 13 回：エスキース 11 (プレゼンテーション 2) 第 14 回：エスキース 12 (プレゼンテーション 3)			各授業毎に授業進行に対応した内容(平面図、立面図、断面図、スタディ模型)のエスキースを適切なスケールで作成してくる。			
第 15 回：講評会・フォローアップ (建築学科全教員)						